

「 「観音開き法」食道残胃吻合を施行した噴門側胃切除術後の残胃癌の発生と予後を検証する多施設共同後ろ向き観察研究 (rD-FLAP-rGC Study) 」へのご協力をお願い

代表者名	藤原 俊義	所属：岡山大学消化器腫瘍外科	職名：教授
共同担当者名	野中 泰幸	所属：津山中央病院 外科	職名：統括診療部長
	宮本 学	所属：津山中央病院 外科	職名：医長

1. 目的

噴門側胃切除術と観音開き法による食道残胃吻合術を受けた胃癌患者における残胃癌の発生とその予後について検討する。

2. 対象と方法

「観音開き法」食道残胃吻合の食道逆流防止における有効性を検証する多施設共同後ろ向き観察研究で集積した患者(1996年1月1日から2015年12月31日の間に噴門側胃切除術、観音開き法再建を施行した患者)のうち、胃癌患者のみを抽出し、残胃癌の発生を検証する。残胃癌は噴門側胃切除後に診断されたものを対象とする。

3. 研究期間

2021年3月1日 ～ 2021年10月31日

4. 調査票等

研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきます。あなたの個人情報は削除後匿名化し、個人情報などが漏洩しないようにプライバシーの保護には最新の注意を払います。

- ・年齢、性別、家族歴、既往歴、嗜好、診察初見など
- ・検査データ、画像データ、手術記録、病理記録など
- ・治療内容、有害事象など

5. 情報の保護

調査により得られたデータを取り扱う際は、被検者の秘密保護に十分配慮し、特定の個人を識別することができないようにします。

個人情報は完全に秘匿されておりますのでご安心下さい。もし患者様自身やご家族の情報が研究に使用されることについてご了承頂けない場合には研究対象としませんので下記までご連絡下さい。

津山中央病院 病院長 林 同輔

連絡先：電話 0868-21-8111 (担当：外科 宮本 学)